年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　電気　　科目 電気回路

教　科：　電気　　科　目：　電気回路　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　2 学年　E　組

教科担当者：（E組：小幡・高橋）

使用教科書：（ 電気回路1・2　実教出版　　）

教科　電気　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】電気の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】電気に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の構築を目指して自ら学び，電気の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目　電気回路　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な電気現象、電気現象を量的に取り扱う方法、電気的諸量の相互関係について原理・法則を理解し、知識と技術を身につけている。	基本的な電気現象の意味を考え、変化に対する結果を電気に関する知識と技術を活用して考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。	基本的な電気現象と、その現象が数式により表現できることに関心をもち、新しい事柄に対して意欲的に学習に取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	交流回路 ・交流の発生と表し方 ・交流回路の電流・電圧 ・交流回路の電力	・正弦波交流の発生原理、角周波数と周波数の関係、正弦波交流の瞬時値と実効値・平均値などについて理解できるようにする。 ・位相と位相差、R、L、C単独回路とRL・RC・RLC直列回路および並列回路に関するベクトル表現と計算方法などについて理解できるようにする。 ・消費電力、力率、皮相電力、無効電力及び無効率などに関する物理的な意味を理解し、それらに関する計算ができるようにする。	・交流回路について電流、電圧とそれら電気的諸量の相互関係と量的に取り扱う方法や電気的諸量を計算により処理する方法などを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・交流回路の電流，電圧及び相互関係などに着目して、交流回路に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 ・交流回路について自ら学び、電流、電圧及び相互関係などを工業技術と関連付けた工業生産への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	交流回路の計算 ・記号法の取り扱い ・記号法による計算 ・回路に関する定理	・複素数について理解し、複素数による計算ができるようにする。 ・V、I、Zを複素数で表す方法について理解できるようにする。 ・RL・RC・RLC直列回路、RL・RC・RLC並列回路、交流ブリッジに関する計算及びアドミタンスによる計算ができるようにする。	・交流回路について電流、電圧とそれら電気的諸量の相互関係と量的に取り扱う方法や電気的諸量を計算により処理する方法などを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・交流回路の電流，電圧及び相互関係などに着目して、交流回路に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 ・交流回路について自ら学び、電流、電圧及び相互関係などを工業技術と関連付けた工業生産への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	交流回路の計算 ・記号法の取り扱い ・記号法による計算 ・回路に関する定理	・複素数について理解し、複素数による計算ができるようにする。 ・V、I、Zを複素数で表す方法について理解できるようにする。 ・RL・RC・RLC直列回路、RL・RC・RLC並列回路、交流ブリッジに関する計算及びアドミタンスによる計算ができるようにする。	・交流回路について電流、電圧とそれら電気的諸量の相互関係と量的に取り扱う方法や電気的諸量を計算により処理する方法などを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・交流回路の電流，電圧及び相互関係などに着目して、交流回路に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 ・交流回路について自ら学び、電流、電圧及び相互関係などを工業技術と関連付けた工業生産への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	交流回路 ・交流の発生と表し方 ・交流回路の電流・電圧 ・交流回路の電力	・正弦波交流の発生原理、角周波数と周波数の関係、正弦波交流の瞬時値と実効値・平均値などについて理解できるようにする。 ・位相と位相差、R、L、C単独回路とRL・RC・RLC直列回路および並列回路に関するベクトル表現と計算方法などについて理解できるようにする。 ・消費電力、力率、皮相電力、無効電力及び無効率などに関する物理的な意味を理解し、それらに関する計算ができるようにする。	・交流回路について電流、電圧とそれら電気的諸量の相互関係と量的に取り扱う方法や電気的諸量を計算により処理する方法などを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・交流回路の電流，電圧及び相互関係などに着目して、交流回路に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 ・交流回路について自ら学び、電流、電圧及び相互関係などを工業技術と関連付けた工業生産への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2学期	交流回路の計算 ・記号法の取り扱い ・記号法による計算 ・回路に関する定理	・複素数について理解し、複素数による計算ができるようにする。 ・V、I、Zを複素数で表す方法について理解できるようにする。 ・RL・RC・RLC直列回路、RL・RC・RLC並列回路、交流ブリッジに関する計算及びアドミタンスによる計算ができるようにする。	・交流回路について電流、電圧とそれら電気的諸量の相互関係と量的に取り扱う方法や電気的諸量を計算により処理する方法などを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・交流回路の電流，電圧及び相互関係などに着目して、交流回路に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 ・交流回路について自ら学び、電流、電圧及び相互関係などを工業技術と関連付けた工業生産への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	交流回路の計算 ・回路に関する定理	・交流回路におけるキルヒホッフの法則、重ね合わせの理、鳳・テブナンの定理を適用した計算ができるようにする。	・交流回路について電流、電圧とそれら電気的諸量の相互関係と量的に取り扱う方法や電気的諸量を計算により処理する方法などを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・交流回路の電流，電圧及び相互関係などに着目して、交流回路に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 ・交流回路について自ら学び、電流、電圧及び相互関係などを工業技術と関連付けた工業生産への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	三相交流 ・三相交流の基礎 ・三相交流回路	・三相交流について、その発生、表し方を理解させる。 ・Y－Y回路・△－△回路における電圧、電流の計算ができるようにさせ、△-Y回路・Y-△回路を理解させる。	・交流回路について電流、電圧とそれら電気的諸量の相互関係と量的に取り扱う方法や電気的諸量を計算により処理する方法などを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・交流回路の電流，電圧及び相互関係などに着目して、交流回路に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 ・交流回路について自ら学び、電流、電圧及び相互関係などを工業技術と関連付けた工業生産への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	三相交流 ・三相電力 ・回転磁界	・三相交流の表し方、Y結線負荷および△結線負荷の三相電力、三相電力の測定について理解させる。 ・回転磁界の発生と三相交流による回転磁界、二相交流による回転磁界について理解させる。	・交流回路について電流、電圧とそれら電気的諸量の相互関係と量的に取り扱う方法や電気的諸量を計算により処理する方法などを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・交流回路の電流，電圧及び相互関係などに着目して、交流回路に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 ・交流回路について自ら学び、電流、電圧及び相互関係などを工業技術と関連付けた工業生産への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	電気計測 ・測定量の取り扱い ・電気計測の基礎	・国際単位系、標準器、誤差、有効数字などについて理解させる。 ・測定量、計器姿勢などの記号、精度階級などについて理解させる。 ・永久磁石可動コイル形計器、可動鉄片形計器、電流力計形計器、ディジタル計器の動作原理及び特徴などについて理解させる。	・各種の電気計器の動作原理を理解し、測定に必要な計器を適切に選択できる。正しい姿勢に計器を配置し、物理的な影響を与えないよう接続できる。 ・電磁力や静電力から直動式指示電気計器の駆動力が得られていることから、各種電気計器の特性を考察し表現できる。 ・直動式指示電気計器の動作原理と正しい計器の取り扱い、ディジタル計器とアナログ計器などについて、理解を深めようと主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	7
	電気計測 ・基礎量の測定	・クランプメータ・電子電圧計・電力計・電力量計・周波数計・力率計などの原理を理解させる。	・各種の計器を正しく接続し、電流、電圧、電力、電力量、抵抗、インピーダンスなどを測定できる。また、オシロスコープによって波形を観測することができる。 ・直接測定法と間接測定法、偏位法と零位法についてその特徴を表現できる。また、電気計器の内部抵抗が測定に影響を与えること、接地抵抗計によって接地抵抗を測定するとき、分極作用があることを考察し表現できる。 ・電圧と電流の測定、電力と電力量の測定、抵抗とインダクタンス・静電容量の測定などについて、主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	10
	各種の波形 非正弦波交流	・RC・RL回路の充放電特性について、物理的な意味を理解させるとともに、数式の取り扱いができるようにする。 ・パルスとしてのいろいろな波形について理解させる。	・非正弦波交流の基本波と高調波を合成して非正弦波交流を描くことができる。また、非正弦波交流の電圧、電流、電力について理解し、実効値やひずみ率などを求めることができる。 ・非正弦波交流は、多数の正弦波の重ね合わせであることを考察し表現できる。 ・非正弦波交流の実効値、ひずみ率、波形率、波高率、消費電力などについて、理解を深めようと主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

年間授業計画　新様式例

高等学校　令和7年度　（2学年）教科　工業（電気）　科目　電気機器

教　科：　工業（電気）　　科　目：　電気機器　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　2 学年　E　組

教科担当者：（　E組：秋田　）　（　組：　）　（　組：　）　（　組：　）

使用教科書：（ 実教出版「工業738電気機器」　）

教科　工業（電気）　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　電気の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】　電気に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の構築を目指して自ら学び，電気の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目　電気機器　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ 電気機器の動作原理の基本となる電磁現象を理解させる。 ・各種電気機器の特徴や特性を理解させる。	問題演習を通して、思考力や応用力を図る。	各種資格試験にチャレンジする態度を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・電気エネルギーの発生および電気機器による利用について，鳥瞰的に理解させる。 ・省エネルギー対策や再生可能エネルギーの利用など，電気機器が電気エネルギーを効率よく利用する方法について理解させる。 ・ファラデーの法則など，電気機器を学ぶための重要な法則がどのように実際の機器に応用されているかを理解させる。	序章　「電気機器」を学ぶにあたって	○	○	○	・電気機器に求められる省エネルギーの推進について，理解を深められている。	○ ○ ○	○	○ ○ ○	13
	定期考査						○	○		1
	・直流機の原理や構造などの基礎的知識や技術を習得し，実験も含め取り扱いができるようにする。 ・直流機は，電圧を加えれば電動機に，外部から回転力を加えれば発電機になる機器であることを理解させる。 ・発電機の原理，構造，特性，特徴などの基礎的知識や技術を習得し，取り扱いができるようにする。	第１章　直流機 １．直流機 ２．直流発電機	○	○	○	・直流機は，電圧を加えれば電動機に，外部から回転力を加えれば発電機になる機器であることを理解している。 ・直流発電機の特性の実験により，直流発電機を活用することができる。 。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1

2学期	・電動機の原理，理論，特性および始動と速度制御に関する知識と技術を習得し，取り扱いができるようにする。 ・直流機の定格，発電機の電圧変動率や効率，および電動機の速度変動率などについて理解し，活用する能力を育てる。 ・電気材料として，導電材料，磁性材料，絶縁材料などの種類や特徴および用途についての基礎的知識について習得し，活用できる能力を育てる。	３．直流電動機 ４．直流機の定格 第２章　電気材料 １．導電材料 ２．磁性材料 ３．絶縁材料	○	○	○	・直流電動機の始動と速度制御の実験により，直流発電機を活用することができる。 ・実験に用いた直流機の銘板に記載されている定格値を確認することができる。 ・電気材料は，すべての電気機器を構成する重要な材料であることを意識している。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	15
	定期考査						○	○		1
	・単相変圧器の原理，構造，特性および等価回路について理解させ，活用できるようにする。 ・変圧器の電圧変動率や効率について理解し，取り扱いができる能力を習得させる。また，変圧器の冷却の必要性とその方法についても理解させる。 ・変圧器の極性について理解させ，並行運転の必要性および三相結線の種類と特徴などに関する知識を習得させ，活用できるようにする。 ・三相変圧器，特殊変圧器および計量用変成器の原理，構造，取り扱いに関する知識を習得させる。	第３章　変圧器 １．変圧器の構造と理論 ２．変圧器の特性 ３．変圧器の結線 ４．各種変圧器	○	○	○	・変圧器の極性試験や特性の実験により，活用できる。 ・変圧器の実験データをグラフ化することができる。 ・単相変圧器を用いて，各種の三相結線の実験を通して，実際に活用することができる。 ・学校の変電室にある計器用変成器の計器の役割を確認できる。。	○	○	○	16
	定期考査						○	○		1
3学期	・三相誘導電動機の原理，構造，等価回路，特性，各種の始動法，速度制御に関する知識と技術を習得させ，活用できるようにする。 ・特殊かご形誘導電動機や単相誘導電動機の原理，構造に関する知識と技術を習得させ，活用できるようにする。 ・三相同期発電機の原理，構造，特性について理解させ，並行運転の原理および操作技術を習得させ，活用できるようにする。 ・三相同期電動機の原理，特性および始動法に関する知識と技術を習得させ，活用できるようにする。 ・パワーエレクトロニクスとして、サイリスタ、IGBTなどの回路素子を学び、その回路素子を用いた、直流チョッパ回路やインバータに学ぶ。	第４章　誘導機 １．三相誘導電動機 ２．各種誘導機 第５章　同期機 １．三相同期発電機 ２．三相同期電動機 第８章パワーエレクトロにクス	○	○	○	・三相誘導電動機の構造と運転の実習および特性実験により，誘導機の原理や特性を掴むことができる。 ・単相誘導電動機など身近な電気機器に対して，興味，関心を持つことができる。 ・三相同期発電機の特性および並行運転の実習を通して，活用することができる。 ・三相同期電動機の始動および位相特性(「新版電気･電子実習2」の教材参照)の実習を通して，活用することができる。 ・どのような回路動作で、直流が昇圧や降圧したりするかを理解できる。またインバータを通して直流を交流に変換される過程を理解できる。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	20
	定期考査						○	○		1

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和７年度（２学年） 教科　　工業（電気）　科目 電気実習

教　科：　工業（電気）　　科　目：　電気実習　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　2 学年　E　組

教科担当者：（　E組：小幡、高橋、田中、田口、須崎　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）

使用教科書：（　　）

教科　工業（電気）　　の目標：

【知識及び技能】　電気の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】　電気に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の構築を目指して自ら学び，電気の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目　電気実習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などと調和のとれたありかたおよび現代社会における工業の意義や役割を理解し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決を目指して。広い視野からみずから考え、基礎的な知識と技術を的確に表現する能力を身に着ける	工業技術に興味・関心を持ち。その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展を図る創造的、実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	オリエンテーション	①実習の意義、心得、態度、約束事	態度	○	○	○	4
	電気系・電気工事実習 電気電子系・計測実習 電子情報系・情報・制御実習	電気工事実習① オシロスコープ 電子制御①	・態度 ・技能 ・提出物 ・持ち物 ・知識	○	○	○	12
	施設見学		・態度 ・提出物	○	○	○	4
	電気系・電気工事実習 電気電子系・計測実習 電子情報系・情報・制御実習	電気工事実習②③ 基本交流回路、直列共振回路 電子制御②③	・態度 ・技能 ・提出物 ・持ち物 ・知識	○	○	○	24
2学期	電気系・電気工事実習 電気電子系・計測実習 電子情報系・情報・制御実習	電気工事実④⑤ ダイオードの特性、トランジスタの特性 電子制御④⑤	・態度 ・技能 ・提出物 ・持ち物 ・知識	○	○	○	24
	電気系・電気工事実習 電気電子系・計測実習 電子情報系・情報・制御実習	電気工作① 論理回路① 電子制御⑥	・態度 ・技能 ・提出物 ・持ち物 ・知識	○	○	○	12
	安全教室（関東電気保安協会）		・態度 ・提出物	○	○	○	4
3学期	電気系・電気工事実習 電気電子系・計測実習 電子情報系・情報・制御実習	電気工作② 論理回路② 電子制御⑦	・態度 ・技能 ・提出物 ・持ち物 ・知識	○	○	○	12
	3学年課題研究発表会見学		・態度 ・提出物	○	○	○	4
	電気系・電気工事実習 電気電子系・計測実習 電子情報系・情報・制御実習	電気工作③ 論理回路③ 電子制御⑧	・態度 ・技能 ・提出物 ・持ち物 ・知識	○	○	○	12

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用）教科　電気　　科目　製図

教　科：　電気　　科　目：　製図　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　E　組～　　組

教科担当者：（E　組：秋田・岸川）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）

使用教科書：（ 電気製図（実教出版）　　）

教科　電気　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　電気に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けて

【思考力、判断力、表現力等】　電気に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の構築を目指して自ら学び，電気の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目　製図　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
製図の基本や規格・基準を学び、活用できる能力や技能を育成する。	部品や製品の図面の作成及び図面から制作情報を読み取る力を育成し、図面作成過程において創造力を高め、頭に浮かんだ概念を正確に表現できる能力と態度を育てる。	当初は、手書きによるに取り組むが、２次元CAD さらに３次元CAD に挑戦する意欲を育成し、コンピューターを活用して製図を作成する基礎を築く。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	製図の基本の習得	1、製図の規格や製図器具の取り扱い。 2、線と文字の用法と書き方。 3、平面図形。 4、投影図の書き方。	【知識・技能】 規格に基づいた作図能力が身についている。 【思考・判断・表現】 平面図形が欠ける思考、判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 投影図について理解し、意欲的に作図に取り組んでいる。	○	○	○	8
	・機械要素	１、ねじの種類と表し方 2、ボルト、ナット、各種ねじ、ざぐりについて。　３、上記機械要素の図面作成	【知識・技能】 ねじの種類と図示を理解し、作図ができる。 【思考・判断・表現】 ボルト、ナットを正しい手法で作図できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他の機械要素にも関心を持っtいる。	○	○	○	6
				○	○		
	・電気用図記号	１、電気電子回路の接続図や配線図で用いられる図記号の形状を正しい比率で書けるようにする。 ２、基礎受動部品を正しく書けるようにする。３、半導体素子や集積回路について正しい図記号で書けるようにする。	【知識・技能】 規格に基づいた図記号を作図できる。 【思考・判断・表現】 図面の大きさに応じて正しい比率で作図できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 更に多くの図記号を学ぼうとする姿勢がある。	○	○	○	6
	・電気器具・機器	以下の電気器具や機器の製作図の製図を作成する。 ・断路器　・ 避雷針　・ 変圧器	【知識・技能】 電気器具の原理や構造を理解している。 【思考・判断・表現】 機械製図の知識に基づいた作図ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 これら電気器具が受電設備での役割について関心を持っている。	○	○	○	6
2学期	・電気設備	・屋内配線図の製図を「電気設備基準」や「内線規程」に基づき作成する。　・自家用変電設備の各種器具のの役割を学び、これらを接続した単線結線図を作成する。	【知識・技能】 内線規程に基づいた屋内配線図が作成できる。 【思考・判断・表現】 単線結線図の図記号の意味を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 関連する資格取得を目指している。	○	○	○	14
	CADシステム１	・CADシステムの概要 ・CADシステムに関する規格　・ CADシステムによる製図	【知識・技能】 CADの基本操作を習得している。 【思考・判断・表現】 与えられた課題を正確に作図できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さらに複雑の作図に意欲を持つている。	○	○	○	14
3学期	・シーケンス制御施設 ・再生可能エネルギーによる発電設備	・シーケンス制御の基礎と接続図 ・揚水ポンプのシーケンス ・太陽光発電 ・風力発電	【知識・技能】 シーケンス図を理解できる。 【思考・判断・表現】 シーケンス図を仕様に基づき作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 太陽子発電や風力発電について積極的に学ぶ姿勢がある。	○	○	○	10
	CADシステム２	・二次元CADと三次元CADについて、作成手順を多く作図体験により理解習得させる。	【知識・技能】 基本的な3次元CADの作図ができる。 【思考・判断・表現】 多くの機能を利用した作図ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に作図能力の向上に取り組んでいる。				10 合計 74

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（２学年） 教科　　工業（電気）　科目 アプリケーション基礎

教　科：　工業（電気）　　科　目：　アプリケーション基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　E　組

教科担当者：（　E組：高橋　）　（　組：　）　（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（　）

教科　工業（電気）　の目標：

【知識及び技能】　電気の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】　電気に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けて

【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の構築を目指して自ら学び，電気の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目　アプリケーション基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
アプリケーションソフトウエアの基本操作を学び、文書作成等、社会で役に立つレベルの技能習得をめざす。	適切なアプリケーションソフトの選択を行い、それを活用して表現力豊かな作品づくりができるようになることをめざす。	自ら積極的に課題に取り組み、工夫を行い、より良い作品づくりができるようになることをめざす。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	ガイダンス Microsoft Office Word	Ｗｏｒｄ 書式設定、文字の入力、文章の入力と訂正、特殊な入力方法、保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動、編集機能、ビジュアルな文書 （情報処理検定4級程度）	○	○	○	（１）基本的・応用的な操作ができるか （２）課題への取り組み姿勢 （３）報告書（ノート）の提出と内容	○	○	○	8
	定期考査									0
	Microsoft Office Word	Ｗｏｒｄ 書式設定、文字の入力、文章の入力と訂正、特殊な入力方法、保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動、編集機能、ビジュアルな文書 （情報処理検定３級～準2級程度）	○	○	○	（１）基本的・応用的な操作ができるか （２）課題への取り組み姿勢 （３）報告書（ノート）の提出と内容	○	○	○	12
	定期考査									0

2学期	Microsoft Office Ｅｘｃｅｌ	Ｅｘｃｅｌ データ入力の基礎、ワークシートの編集、グラフの作成、関数の挿入、データベース機能、集計 （情報処理検定３級程度）	○	○	○	（1）基本的・応用的な操作ができるか （2）課題への取り組み姿勢 （3）報告書（ノート）の提出と内容	○	○	○		12
	定期考査										0
	Microsoft Office PowerPoint	PowerPoint 基本操作 スライドショーの作成 装飾機能、アニメーション機能 作品制作、発表練習	○	○	○	（1）基本的・応用的な操作ができるか （2）課題への取り組み姿勢 （3）報告書（ノート）の提出と内容	○	○	○		12
	定期考査										0
3学期	選択学習	Adobe Photoshop Adobe Illustrator Adobe Aftereffect その他 1項目を選択して基本操作を学び、作品づくりを行う。 Photoshop ツールバーの使い方、機能紹介、パネル、レイヤー、ブラシ、ラスタライズ、切り抜き、応用 Illustrator オブジェクト、パス、アンカーポイント、ツールバーの使い方、機能紹介、メッシュ、応用 Aftereffect コンポジション、各種レイヤー、アニメーション、フレーム、エフェクト作成、応用	○	○	○	（1）基本的・応用的な操作ができるか （2）課題への取り組み姿勢 （3）報告書（ノート）の提出と内容	○	○	○		16
	定期考査										0